

麦作情報 第 3 号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

●気象概況（アメダス宗像より）

1 2 月	平均気温(°C)	平年気温(°C)	降水量(mm)	平年降水量(mm)
上旬	10.1(+1.5)	8.6	14(-12)	26
中旬	8.7(+1.2)	7.5	52(+31)	21
下旬	9.1(+2.3)	6.8	93(+73)	20

1 2 月は、全般に平年より気温が高く、中下旬は降水量が平年より多く経過しました。播種時期の降雨により、播種の遅れたほ場が見られ、ほ場間の生育差が大きくなっています。麦の生育状況に応じた適切な管理作業を行いましょう。

1 麦踏み・土入れ

1 月上旬時点では、1 1 月下旬播種では 4～5 葉期で分けつを開始しており、1 2 月上中旬播種では 2～3 葉期となっています。

(1) 麦踏み

- ★4 葉目以降から 2 月末頃までに、ほ場がよく乾燥した日を選んで、3～4 回を目安に行ってください。
- ★ほ場が湿っている時の麦踏みは、ほ場を締め付け生育を抑制するため、必ずほ場が乾燥している時に行ってください。また、生育の遅れているほ場では、本葉 3 枚以上になって、麦踏みを行ってください。

(2) 土入れ

- ★地表面排水のための作溝を兼ねて、土入れを行ってください。
- ★1 回目は浅く、2 回目以降は麦の生長に伴って土の量を増やしましょう。
(土入れは、麦踏み前に行い、麦踏み直後には実施しない。)

2 排水対策

排水溝の溝さらえを十分に行いましょう。特に、枕地の溝と排水溝がつながるようにして、ほ場内の水が速やかに流れ出るようにしておきましょう。

3 雑草対策

気温が高めに経過し、降水量も多かったため、スズメノテッポウなどのイネ科雑草やノミノフスマ、ヤエムグラなどの広葉雑草が発生しています。雑草が目立つほ場では、次の表を参考に雑草防除を徹底してください。

対象雑草	イネ科（スズメテッポウ他）及び 広葉（ヤエムグラ、カラスノエンドウ他）	広葉のみ（ヤエムグラ、カラスノエンドウ、ミノフスマ他）
薬剤名	ハーモニー 7 5 DF 水和剤	アクチノール乳剤
使用量(10a)	5～10g	100～200ml
使用回数	1回	2回以内
希釈水量	100ℓ	70～100ℓ
使用時期	麦 1 葉期～茎立ち前まで （スズメテッポウ 5 葉期まで）	穂ばらみ期まで （雑草生育初期）

★カズノコグサ（湿田で発生が多い）対象にハーモニー 7 5 DF 水和剤を使用する場合は、使用量を 10g/10a とし、カズノコグサが 3 葉になるまでに使用して下さい。

★ハーモニー 7 5 DF 水和剤は、周辺に野菜や豆類がある場合散布できません。

使用後のタンク及び散布器具は、消石灰 500 倍液を 10 分間循環させた後、20 分間放置し、排出後清水で洗浄して下さい。

★ハーモニー 7 5 DF 水和剤及びエコパートフロアブルは、茎立ち以降に散布すると、薬害が発生するため散布しないでください。

★エコパートフロアブルはヤエムグラに効果が高いですが、カラスノエンドウには効果がありません。前年カラスノエンドウが発生したほ場では必ずアクチノール乳剤を使用して下さい。

★カラスノエンドウは 3 月頃に発生してきますので、遅めの除草剤散布が有効です。

★昨年、トゲミノキツネノボタンが発生したほ場では、2 月上～中旬にハーモニー 75DF 水和剤を散布して下さい。

4 追肥（分けつ肥）

品種	追肥(10a 当たり)	追肥一発肥料の場合(10a 当たり)
チクゴイズミ	NK2 号 … 20kg	グッド IB506 … 30kg
ちくしW2号	—	グッド IB407 … 30kg
しゅんれい	NK2 号 … 15kg	—

★追肥の効果を高めるために、施用後は土入れを行ってください。

品種	播種時期	施用時期
チクゴイズミ ちくしW2号	1 1 月中下旬	1 月中～下旬
	1 2 月上旬	1 月下～2 月上旬
	1 2 月中下旬	2 月上旬
しゅんれい	1 1 月中～1 2 月上旬	1 月下～2 月上旬
	1 2 月中下旬	2 月上～中旬

★チクゴイズミでは、2 月下旬～3 月上旬頃に穂肥を施用（追肥一発肥料施用ほ場は除く）しますが、次回の麦作情報第 4 号でお知らせします。